

| | | | |
|------------------------|---|---------|--|
| 1. 科目名(単位数) | 病弱教育総論 (2単位) | 3. 科目番号 | SNMP3450 SCMP3450 SBMP3450 SSMP3450 SSMP3350 |
| 2. 授業担当教員 | 梅永雄二 | | |
| 4. 授業形態 | 講義・演習 講義による基礎理論の習得に基づき、グループ討議等のアクティブラーニングにより、履習者同士の実践的な学び合いを重視します。 | 5. 開講学期 | 秋期 |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | 病弱者教育I・IIおよび病弱者の心理・生理・病理を履修し選択することが望ましい。 | | |
| 7. 講義概要 | 病弱教育の対象の治療形態において長期入院は少なくなり、医療的ケアや悪性新生物など重篤な状態であっても入院・加療を続けながら通常の生活を送ろうとする事例が増えてきた。本科目では、様々な事例を通して個々の病態への具体的な理解を深め、本人、家庭が置かれる多種多様な生活環境や心理状況を俯瞰しながら、個に応じて指導内容の適切な調整ができる教員の資質を培う。 | | |
| 8. 学習目標 | <p>【期待される効果】以下に関して自発的な態度で臨み、指導実践力を高める。</p> <p>① 病弱教育の概念や各種病態・治療経過を含む実態把握と指導内容の精選。</p> <p>② 「病気の子ども」の教育課題、教育課程の理解にもとづく指導計画の立案。</p> <p>③ 「病気の子ども」の抱える状況・配慮事項の理解にもとづく指導内容・方法の工夫。</p> <p>④ 病気を抱えつつ成長する子どもの生涯を見通した自立活動(主として健康の保持)の工夫。</p> | | |
| 9. アサインメント(宿題)及びレポート課題 | <p>1. 授業で提出するテーマに沿って、慢性の疾患と共に生きていく子どもたちの教育(発達支援課題・自立支援課題)・環境整備・合理的配慮について学び生きる豊かさと教育の価値と併せて考えていく。授業ごとにまとめたレポート(A4 1~2枚)を提出すること(到達度評価)。</p> <p>2. 教科書や配付プリント、レポート等が綴られるようなノート兼用のバインダーを準備すること。</p> <p>3. グループ課題項目をグループで事前学習しまとめて授業の初めに発表してほしい。</p> | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | 【教科書】梅永雄二、島田博祐、森下由規子(2026): もっと、みんなで考える特別支援教育(北樹出版) | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | <p>○成績評価の規準</p> <p>1. グループワークにおけるレポート課題の書き方に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。</p> <p>2. 分かりやすい表現方法や具体的かつ論理的な文章作成力が身に付いたか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>1. 授業への積極的参加 総合点の40%</p> <p>2. テスト・レポート・発表などの活動 総合点の60%</p> <p>*なお、本学規定の「3/4以上の出席」が単位修得の条件であることも判断規準となる。</p> | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | 病弱教育特別支援学校の設置数は他の校種と比べて少ないですが、病弱教育を受ける子どもは地域の通常の学校や特別支援級、他障害種の特別支援学校、分級に在籍しています。また先端医療の発展とともにNICUから退院してきた子どもたちへの訪問級など病弱教育のニーズも高まっています。主症状となる慢性疾患の重症化・重度化・重複障害のみならず、しばしば合併する心身症への対応、また、さまざまな教育環境や家庭の事情、兄弟姉妹への配慮など、教師に必要とされる専門性の幅が広いです。彼らに自己肯定感を高め、生への希望を持ってもらうことが病弱への抵抗力を培い、早期の治癒や寛解(病状が一時的に安定すること)を可能にするといわれています。重症であってもその病状で安定している子どもたちへの適切な教育は、医療知識等の基礎学習が重要です。その意味で医療の側からの病弱教育への期待は高く、その期待に応えるためには、子どもの命と正面から向き合う真摯な姿勢が求められます。 | | |
| 13. オフィスアワー | | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | |
| 第1回 | オリエンテーション 病弱での生活機能の低下による正常発達を阻害する要因と教育環境への配慮 | 事前学習 | 病弱・病虚弱の定義を振り返る |
| | | 事後学習 | 学校教育法施行令第22条の3の別表で確認しておく |
| 第2回 | 子どもたちが求める教育の社会性・発達支援・社会参加 関連法令と学習指導要領 | 事前学習 | 学校教育法施行令や特別支援学校学習指導要領で「病弱者」の項目を調べておく |
| | | 事後学習 | 関係法規をまとめておく |
| 第3回 | 病気の子どもを生活を支える福祉について | 事前学習 | 病気の子どもを支える福祉の制度について調べておく |
| | | 事後学習 | レジュメを振り返り、整理しておく |
| 第4回 | 白血病 | 事前学習 | NISE Health Center 病類別支援冊子「白血病」を読んでおく |
| | | 事後学習 | 「血友病」についての知識を整理しておく |
| 第5回 | 血友病 | 事前学習 | NISE Health Center 病類別支援冊子「血友病」を読んでおく |
| | | 事後学習 | [血友病]についての知識を整理しておく |
| 第6回 | てんかん | 事前学習 | NISE Health Center 病類別支援冊子「てんかん」を読んでおく |
| | | 事後学習 | [てんかん]についての知識を整理しておく |
| 第7回 | 筋ジストロフィー 子どもとつながる | 事前学習 | NISE Health Center 病類別支援冊子「筋ジストロフィー」を読んでおく |

| | | | |
|------|--------------|------|---|
| | | 事後学習 | [ムコ多糖症]についての知識を整理しておく |
| 第8回 | 胆道閉鎖症 | 事前学習 | NISE Health Center 病類別支援冊子「胆道閉鎖症」を読んでおく |
| | | 事後学習 | [脳腫瘍]についての知識を整理しておく |
| 第9回 | 肥満・心の病 | 事前学習 | NISE Health Center 病弱教育支援冊子「病気の子ども理解のために 第2巻「こころの病編」」を読んでおく |
| | | 事後学習 | [色素性乾皮症]についての知識を整理しておく |
| 第10回 | 脳腫瘍①脳腫瘍② | 事前学習 | NISE Health Center 病類別支援冊子「脳腫瘍」を読んでおく |
| | | 事後学習 | 脳腫瘍]についての知識を整理しておく |
| 第11回 | ベッドサイド授業 | 事前学習 | 教科書 病類別支援冊子「病院でのベッドサイド教育」を読んでおく |
| | | 事後学習 | ベッドサイド授業案を作成する |
| 第12回 | もやもや病・ヘルテス病 | 事前学習 | NISE Health Center 病類別支援冊子「もやもや病」を読んでおく |
| | | 事後学習 | [もやもや病]「ヘルテス病」についての知識を整理しておく |
| 第13回 | 訪問教育・ICT教育実践 | 事前学習 | 生きる力と教育の意義についてまとめておく |
| | | 事後学習 | 模擬授業の結果をまとめておく |
| 第14回 | 訪問教育・ICT教育実践 | 事前学習 | ICT教育資料を収集しレポートしておく。 |
| | | 事後学習 | 模擬授業の効果と反省をまとめておく。 |
| 第15回 | まとめ | 事前学習 | グループ発表資料の作成 |
| | | 事後学習 | グループ発表のまとめ |
| 期末試験 | | | |